



2024年3月21日

各 位

会 社 名 リンテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 服部 真
(コード：7966、東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 管理本部長
柴野 洋一
(TEL. 03-5248-7713)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 現状分析

当社グループは、2030年3月期を最終年度とする長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030 (LSV 2030)」を掲げ、その実現に向けた3か年ごとの中期経営計画を2021年4月からスタートしております。

最初の中期経営計画「LSV 2030 - Stage 1」では、売上高営業利益率 8%以上、ROE 8%以上を目標としておりますが、初年度の2022年3月期には売上高営業利益率、ROEともに目標の8%を上回ったものの、2年目以降、電子・光学関連製品や他の製品についても市況低迷による急激な受注減少があったほか、原燃料価格高騰の影響を大きく受けたことなどにより、2023年3月期は売上高営業利益率、ROEともに5%程度に留まる結果となりました。最終年度の2024年3月期においても、原燃料価格の高止まりや操業損失が響き、利益面は非常に厳しい状況になるものと予想しています。

下記の表のとおり、当社のROEはWACCを上回って推移しているものの、PBRについては1倍を下回る状況が続いております。

<中期経営計画「LSV 2030 - Stage 1」における実績値の推移>

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期(予想)
売上高 (百万円)	256,836	284,603	275,000
営業利益 (百万円)	21,584	13,796	9,000
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	16,641	11,512	5,500
ROE (%)	8.2	5.3	-
自己資本当期純利益率			
WACC (%)	5.2	5.2	-
加重平均資本コスト*			
PBR (倍)	0.81	0.65	-
株価純資産倍率			

* CAPM (Capital Asset Pricing Model) を用いた当社にて算出の加重平均資本コスト

2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

<方針>

2024年4月からスタートする新中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」の最終年度における経営目標を以下とし、継続的なPBR 1倍超えを目指し、諸施策に取り組んでまいります。

<LSV 2030 - Stage 2 最終年度 経営目標>

- 売上高営業利益率 8%以上
- ROE（自己資本当期純利益率） 8%以上

<主な取り組み>

- (I) 長期ビジョン「LSV 2030」に掲げる重点テーマ
 - 1. 社会的課題の解決
 - 2. イノベーションによる企業体質の強靱化
 - 3. 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

- (II) 新中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」での主な施策
 - (1) サステナビリティ委員会の機能を強化し、ESGの深化・CO2削減計画の早期前倒し
 - (2) 最終年度経営目標の着実な達成
 - ・QCD強化による既存事業の高収益化
 - ・抜本的な構造改革と事業ポートフォリオの最適化
 - ・新製品・新事業の早期立ち上げ
 - ・DXによる開発・製造・物流・業務プロセスなどの変革
 - ・売上債権や棚卸資産、固定資産の回転率向上による資産効率の改善
 - (3) 株主還元とキャッシュアロケーション
 - ・2027年3月期までは原則として減配せず、配当性向40%以上またはDOE 3%を目途に配当を実施
 - ・機動的な自己株式の取得
 - ・財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効活用
 - (4) 積極的な株主との対話やIR活動の推進
 - ・株主や投資家との建設的な対話や株主通信誌（WAVE）を通じた意見やアドバイスを経営層で共有し、経営に有効活用
 - ・個人・機関投資家に対するIR活動の強化
 - ・リンテックホームページのIRサイトや統合報告書の充実

以 上